

凡例

彩色	名称	基準値	計画値
茶	共用スペース (真通道路スペースは枠茶 景観に配慮したスペースは枠青 まちづくりに寄与するスペースは枠緑)	117.02㎡	161.26㎡
緑	歩道状スペース		130.14㎡
緑	沿道緑地		31.12㎡
橙	広場状スペース		0.00㎡
枠紫	憩いの場	120.00㎡	131.51㎡
紫	集いの場	60.00㎡	103.70㎡
黄	自動車駐車場	障害者用1台	障害者用1台
枠黄	停車スペース	1台	1台
桃	自転車等駐車場	150台	154台 (バイク15台)
水	防火貯水槽	80t	80t
赤	消火器格納箱	1基	1基

- 共用スペースの面積計算（敷地面積1,170.20㎡）
式：1,170.20㎡ × 10% = 117.02㎡
- 憩いの場の面積計算（55㎡以上の住戸数75戸）
式：30㎡ + (1.2㎡ × 75戸) = 120.00㎡
- 集いの場の面積計算（55㎡以上の住戸数75戸）
式：60㎡ + (0.6㎡ × (75戸 - 75)) = 60.00㎡
- 自動車駐車場の台数計算
検討：停車スペースおよび障害者用駐車スペースをそれぞれ1台以上。
- 自転車等駐車場の計算式（55㎡以上の住戸数75戸）
式：75 × 2.0 = 150台
(うち概ね10% (15台) をバイクの駐車スペースとする)

凡例 清掃施設（協議）

灰	ごみ・資源保管場所	15.58㎡	15.58㎡
枠灰	粗大ごみ置場	3㎡以上	5.14㎡

凡例 緑化（計画）

枠緑	接道緑化（長さ）	57.66m	66.67m
黄緑	敷地内緑化（面積）	58.51㎡	134.53㎡

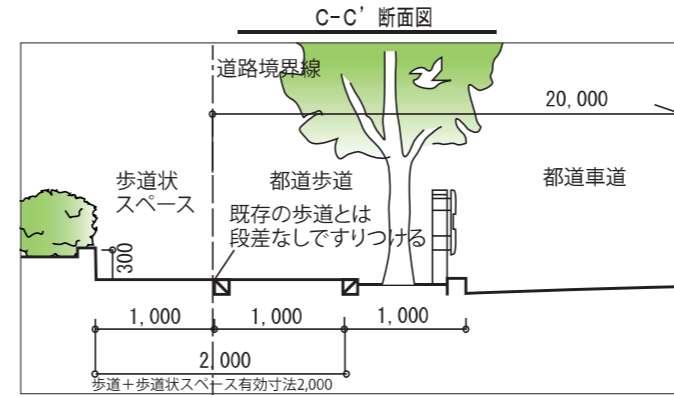
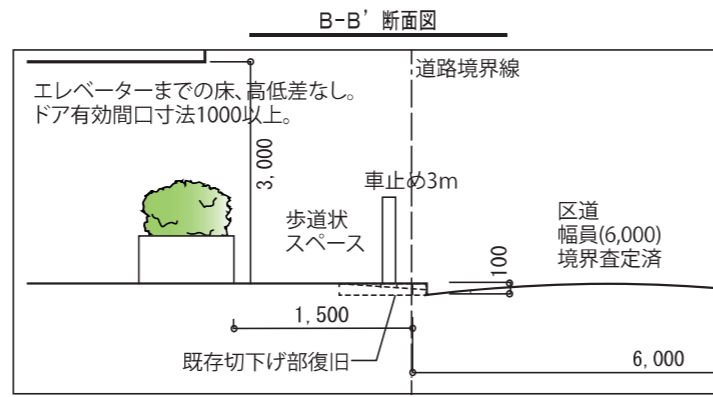
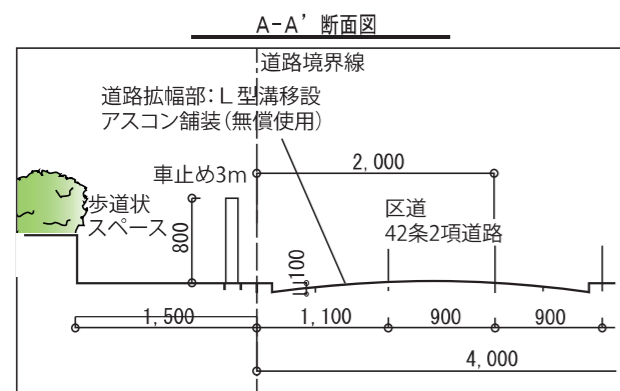
凡例 42条2項道路

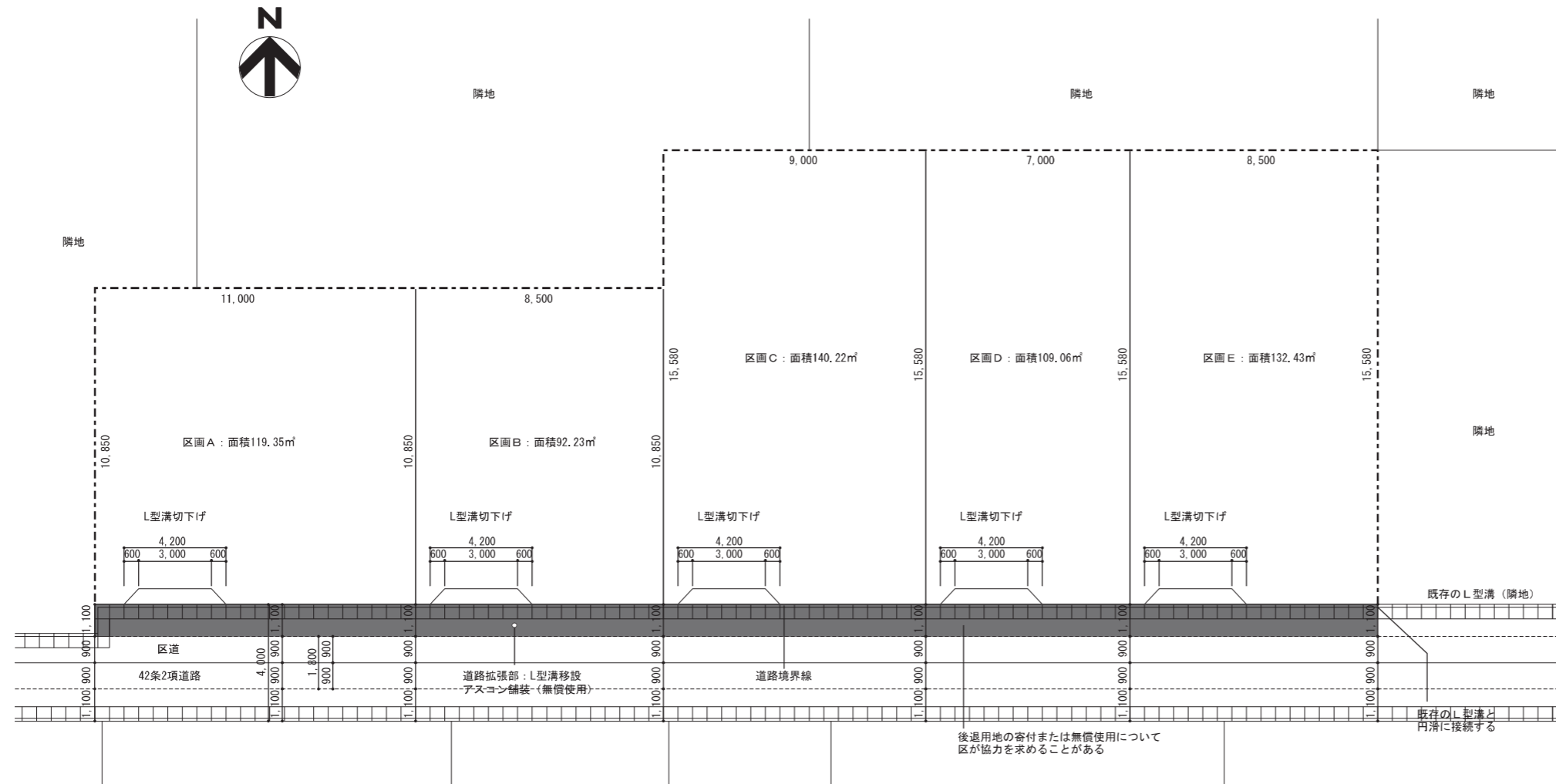
朱	延長（長さ）		26.20m
	範囲（面積）		30.12㎡

凡例 敷地内設備

記号	名称	仕様	数量	備考
○	ポール型車止め	ステンレス製 H=800φ120	22本	ヘアライン仕上 固定式
□	歩道状スペース	透水性インターロッキング ブロック舗装		100×200 目地砂式
□	歩道状スペース (乗り入れ部)	インターロッキング ブロック舗装		コンクリート 基礎
□	ウッドベンチ	450×1200 レッドウッド製	4箇所	沢ストリート (株)
□	スプリング遊具	FPP製 乗播遊具	2箇所	金子遊具(株)
□	滑り台・砂場	L=3600 抗菌管理	1箇所	金子遊具(株)
□	鉄棒	H=900・1200	2連	沖山スポーツ (株)
□	ダスト舗装	A100ローム50% 荒木田50%		

● 憩いの場に設備する遊具については、通常の使用に対して、十分に安全性を検討したものを選択した。





後退用地の寄付または無償使用について
区が協力を求めることがある

凡例

	事業敷地界
--	-------

42条2項道路

	延長（長さ）	44.00m
	範囲（面積）	48.27㎡

土地利用計画図作成上の注意

1. 歩道状スペースの隣地境にやむを得ず塀等を設ける場合は将来隣地に歩道状スペースが設置されたときに、敷地の所有者が責任を持って撤去する。
2. 細街路の拡幅部分・安全条例による隅切り部分は、周り寸法、権利関係、舗装の復旧構造を図示する。
3. 隣地境に切土・盛土・ドライエリア等がある場合は、断面図を作成する。
4. 官民・民民境に境界石がある場合は引き出して詳細図に明記する。
5. 車乗り入れ部は、1敷地2ヶ所までとする。
6. 憩いの場を共用スペースに置き換える場合、その敷地で必要な共用スペースの面積に、憩いの場として必要とされる面積を加算した数値以上確保すること。
7. 本計画における道路の舗装構造・影響範囲については、各道路管理者を協議すること。